

(10) 対象基準地の前年標準価格等からの検討	①-1対象基準地の検討 ☒ 継続 ☐ 新規				③ 価格形成要因の変動状況	[一般的要因]	新型コロナウィルス、ウクライナ情勢、物価上昇、海外金利動向等、不透明感が増しているが、不動産投資市場は堅調に推移している。
	前年標準価格 4,390,000円／㎡					[地域要因]	地域要因に特段の変動は無い。周辺の繁華性は徐々に回復しつつあるが、事務所ビルでは賃料水準及び空室率が緩やかな悪化傾向にある。
	①-2基準地が共通地点（代表標準地等と同一地点）である場合の検討					[個別的要因]	個別的要因に特段の変動はない。近隣地域内ではほぼ標準的な画地である。
	☐ 代表標準地 ☐ 標準地						
	標準地番号 -						
	公示価格 円／㎡						
	②変動率	年間	+1.4%	半年間	%		